

☆ 学習障がいのある子どもの理解

学習障がいの主な特性に即した指導方法①

「教育支援資料」では、学習障がいの主な特性に即した指導方法として、12の指導がありますので、ここでは、①～⑥を紹介します。実際に在籍する児童生徒をイメージしながら、確認してみましょう。



① 指示を理解するための指導

* 指導の前に確認したいこと…指示が理解できない要因を考える

注意が集中できないのか 聞いただけでは理解できないのか 等

【指導方法】

視覚的な補助 復唱 聴写 等

指導方法を組み合わせ、指示を理解する能力の改善を図る。

② 筋道を立てて話すための指導

* 指導の前に確認したいこと…伝えたいことを相手にうまく伝えられない要因を考える。

【指導方法】

絵を見て話す

「いつ」「どこで」「誰が」「何を」「どうする」 等

指導を行いながら、話す指導を行う。

③ 文字や文章を音読する能力を高めるための指導

* 指導の前に確認したいこと…音読が苦手な要因を考える

聴覚的処理（文字を音声等に変換すること）に困難があるのか

視覚的処理（視覚的な情報をとらえること）に困難があるのか

【指導方法】

<聴覚的処理に困難がある場合>

「がっこう」を「○○○○」をとらえられるようにするなど、音を視覚的にとらえる指導

支援機器を使って音声教材を繰り返し聞く

【指導方法】 * ③の続きとして

<視覚的処理に困難がある場合>

- 文字単位ではなく、そのまとまりである単語全体としてとらえられるようにする指導
- 文字を拡大
- 行間を広げたりすることができるような教材

④文字や文章を読み理解する能力を高めるための指導

*** 指導の前に確認したいこと…つまりきのレベルや要因を考える**

- 文章の内容を把握できているか
- 文章中の指示語の理解ができているか
- 説明文と物語文のどちらの読解が苦手か 等

【指導方法】

- 文章や段落ごとの関係を図示する
 - 重要な箇所に印をつける 等
- 読解のための手段を身に付けられるようにする。

⑤文字を正確に書く能力を高めるための指導

*** 指導の前に確認したいこと…つまりきのパターンを考える**

- 適切な文字を思い出すことができないか
- 細かい部分を書き間違えるのか
- 同じ音の漢字や形が似ているアルファベットと間違えるのか 等

【指導方法】

- 漢字の成り立ちなどの付加的情報を指導し、意味づけを行う
 - 文章や文字をなぞって書くこと 等
- 指導方法を組み合わせる。

⑥作文を書く能力を高めるための指導

*** 指導の前に確認したいこと…作文を書くことにつまずく要因を考える**

【指導方法】

- 作文を書く際の視点を養うための推こみ課題に取り組む
 - 「いつ」「どこで」「誰が」「何をして」「どう思ったか」などの質問形式から取り組み始める 等
- 工夫をしながら指導を行う。